

【2022 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
解剖学実習		(作) 必修 (福.人) 選択	1	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
志茂 聡 他	C306	sshimo		水曜日 12:10~13:00	
授業の目的・概要	作業療法・理学療法など医療の専門領域を学ぶための基礎として、人体の構造と機能に関する正確な知識と理解が必須である。本科目では、解剖学 I で学習する細胞と組織について、顕微鏡標本を観察することで深く理解する。また、実物をもとにした立体的な標本を観察することで、心臓の構造について理解を深め、骨格系ならびに筋系については専門科目や臨床につながる実践的な知識の修得を目指す。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input checked="" type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	教科書を参照しながら実習を進めるので、各自必ず用意してください。				
教科書	解剖学 標準理学療法学・作業療法学（専門基礎）第 5 版/ 野村巖（編集）/ 医学書院（2020）				
参考書	プロメテウス解剖学エッセンシャルテキスト/ 著：Anne M. Gilroy 監訳：中野 隆/ 医学書院（2019） 標準組織学 総論・標準組織学 各論/ 藤田尚男・藤田恒夫/ 医学書院（2017）				
外部教材	Learn the foundations of human anatomy (MichiganX's Anatomy) Glen M Fox et al, edX				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	細胞と組織の関係について説明できる。			HSU (2), OT (1) ~ (3)	
②	心臓の構造、心臓に出入りする血管を説明できる。			OT (2), (3)	
③	骨と筋に付けられた名称を正しく使える。			OT (1), (2)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間（時間）		
1	体表の区分と解剖学用語まとめの小テスト	講義と実習 小テスト	教科書 P. 5-8 配布資料にて実習課題提示	0	
2	組織について 上皮組織と支持組織 顕微鏡観察の基本	講義と実習	教科書 P. 13-18、39-40 配布資料にて実習課題提示	0	
3	心臓の外観と大動脈、大静脈 心臓の内腔と弁、冠状動脈、冠状静脈	講義と実習	教科書 P. 335-340 配布資料にて実習課題提示	0	
4	心臓標本の観察 課題プリント提出	講義と実習	教科書 P. 337-340 配布資料にて実習課題提示	0	
5	骨学（骨格系）1：骨の構造と連結について学ぶ。	講義と実習	教科書 P. 37-45, P. 97-103 配布資料にて実習課題提示	0	
6	骨学 2：頭蓋 1（外観と頭蓋を構成する骨）まとめの小テスト	講義と実習 小テスト	教科書 P. 46-57 配布資料にて実習課題提示	0	
7	骨学 3：頭蓋 2（外頭蓋底、内頭蓋底、眼窩、鼻腔）	講義と実習 小テスト	教科書 P. 46-57 配布資料にて実習課題提示	0	
8	骨学 4：脊柱、胸郭について学ぶ。 まとめの小テスト	講義と実習 小テスト	教科書 P. 58-67 配布資料にて実習課題提示	0	
9	骨学 5：上肢の骨格 1（上肢帯）	講義と実習 小テスト	教科書 P. 68-71 配布資料にて実習課題提示	0	
10	骨学 6：上肢の骨格 2（自由上肢骨） まとめの小テスト	講義と実習 小テスト	教科書 P. 71-77 配布資料にて実習課題提示	0	
11	骨学 7：下肢の骨格 1（寛骨と骨盤）	講義と実習 小テスト	教科書 P. 78-82 配布資料にて実習課題提示	0	
12	骨学 8：下肢の骨格 2（自由下肢骨） まとめの小テスト	講義と実習 小テスト	教科書 P. 82-92 配布資料にて実習課題提示	0	

【2022 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

回	学習内容等	授業の方法	事前事後学習内容・必要時間 (時間)				
13	筋学3：体幹の筋（頭・頸・胸・腹・背部） まとめの小テスト	講義と実習 小テスト	教科書 P. 178-196 配布資料にて実習課題提示	0			
14	筋学4：上肢と下肢の筋1（上肢帯と下肢帯）標本の観察	講義と実習	教科書上肢： P. 196-198 下肢： P. 211-215 配布資料にて実習課題提示	0			
15	筋学5：上肢と下肢の筋2（上腕と大腿）標本の観察	講義と実習	教科書上肢 P. 198-199 下肢： P. 215-217 配布資料にて実習課題提示	0			
16	筋学6：上肢と下肢の筋3（前腕と下腿）標本の観察	講義と実習	教科書上肢： P. 199-207 下肢： P. 217-223 配布資料にて実習課題提示	0			
17	筋学7：上肢と下肢の筋4（手と足）標本の観察	講義と実習	教科書上肢： P. 207-210 下肢： P. 224-227 配布資料にて実習課題提示	0			
18	筋学のまとめ 標本の観察	講義と実習	教科書 P. 196-227 配布資料にて実習課題提示	0			
19	筋学のまとめ（標本を使って口頭試問）	講義と実習 口頭試問	教科書 P. 196-227 配布資料にて実習課題提示	0			
20	筋学のまとめ（標本を使って口頭試問）	講義と実習	教科書 P. 196-227 配布資料にて実習課題提示	0			
21	表皮と粘膜（上皮組織と支持組織）の顕微鏡観察 顕微鏡実習課題のプレゼンテーション準備	講義と実習	教科書 P. 13-17 配布資料にてプレゼンテーシ ョン課題提示	0			
22	軟骨、骨（支持組織）、筋組織の顕微鏡観察 顕微鏡実習課題のプレゼンテーションの準備	講義と実習	教科書 P. 17・18、39-40、 P. 161-176 配布資料にてプレゼンテーシ ョン課題提示	0			
23	顕微鏡実習課題のプレゼンテーション	プレゼンテ ーション	配布資料にてプレゼンテーシ ョン課題提示	0			
試	期末試験は行わない。						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	0	30	0	0	100
総合力 指標	知識・技術力	50	0	15	0	0	65
	思考・推論・創造する力	20	0	10	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	5	0	0	5
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント					フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	実習内に実習のテーマを網羅する小テストを行う。 評価割合は70%とする。			答案に正誤を加筆し、採点後 返却する。質疑に対応する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						

【2022 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
成果発表	①	✓	第 23 回での光学顕微鏡観察をパワーポイントにまとめてプレゼンテーションする。評価方法は、事前に配布する評価シートに準じておこなう。評価割合は 30%とする。	事前に配布する評価シートに準じておこなう。
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
備 考				
他 担 当 教 員	坂本 宏史、成 昌燮（各回 3 名で担当）			
教員の実務経験	3名の担当教員は解剖学で博士号（医学）を取得している。本学（専任教員）で長年解剖学の教育に携わってきた解剖学教育の専門家である。成は、中華人民共和国の医師（外科）としての資格も有する。			
実践的授業の内容	人体の構造に関わる項目の概念は、書物や視聴覚教材によってある程度理解することができるが、臨床時に応用できるまでの確固たる知識や具体的イメージの獲得は簡単ではない。この授業では、実際に人体解剖に長年携わってきた教員により、経験に基づく多角的視点から具体的な解説がなされるため、臨床家を志す受講者や人体解剖学に興味がある受講者にとって、分かりやすく現実に即した知識を得ることができる。			
そ の 他	今後の新型コロナウイルス感染症の状況などによってオンライン授業への移行など、シラバスが変更される可能性がある。			